

CASBEE 広島 2016年版

広島城三の丸歴史館

■使用評価マニュアル CASBEE 広島 2016年版

欄に数値またはコメントを記入 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		実施設計段階						
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体		
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境			0.40		-			2.7
1 音環境		3.0	0.15		-			3.0
1.1 室内騒音レベル		3.0	0.40		-			
1.2 遮音		3.0	0.40		-			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00		-			
2 界壁遮音性能		-	-		-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-		-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-		-			
1.3 吸音		3.0	0.20		-			
2 温熱環境		2.4	0.35		-			2.4
2.1 室温制御		2.6	0.50		-			
1 室温		2.0	0.38		-			
2 外皮性能		3.0	0.25		-			
3 ゾーン別制御性		3.0	0.38		-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20		-			
2.3 空調方式		3.0	0.30		-			
3 光・視環境		3.0	0.25		-			3.0
3.1 昼光利用		-	-		-			
1 昼光率		-	-		-			
2 方位別開口		-	-		-			
3 昼光利用設備		-	-		-			
3.2 グレア対策		-	-		-			
1 昼光制御		-	-		-			
3.3 照度		-	-		-			
3.4 照明制御		3.0	1.00		-			
4 空気質環境		3.0	0.25		-			3.0
4.1 発生源対策		3.0	0.50		-			
1 化学汚染物質		3.0	1.00		-			
4.2 換気		3.0	0.30		-			
1 換気量		3.0	0.33		-			
2 自然換気性能		3.0	0.33		-			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.33		-			
4.3 運用管理		3.0	0.20		-			
1 CO ₂ の監視		1.0	0.50		-			
2 喫煙の制御	喫煙室を設置していない。	5.0	0.50		-			
Q2 サービス性能		-	0.30		-			3.4
1 機能性		3.9	0.40		-			3.9
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40		-			
1 広さ・収納性		-	-		-			
2 高度情報通信設備対応		-	-		-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00		-			
1.2 心理性・快適性		5.0	0.30		-			
1 広さ感・景観		-	-		-			
2 リフレッシュスペース		-	-		-			
3 内装計画	設計コンセプトを踏まえた内装計画	5.0	1.00		-			
1.3 維持管理		4.0	0.30		-			
1 維持管理に配慮した設計	維持管理を考慮した内外装計画	5.0	0.50		-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50		-			
2 耐用性・信頼性		3.3	0.30		-			3.3
2.1 耐震・免震・制震・制振		3.8	0.50		-			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	耐震安全性の分類における目標を「Ⅱ類(1.25)」と設定した。	4.0	0.80		-			
2 免震・制震・制振性能		3.0	0.20		-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.2	0.30		-			
1 躯体材料の耐用年数	耐久性能の目標を「長期(100年)」と設定した。	5.0	0.20		-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20		-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10		-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10		-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20		-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20		-			
2.4 信頼性		2.6	0.20		-			
1 空調・換気設備		1.0	0.20		-			
2 給排水・衛生設備		2.0	0.20		-			
3 電気設備		3.0	0.20		-			
4 機械・配管支持方法	耐震クラスAを想定	4.0	0.20		-			
5 通信・情報設備		3.0	0.20		-			

3 対応性・更新性			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 空間のゆとり			3.0	0.30	-	-	
	1 階高のゆとり		-	-	-	-	
	2 空間の形状・自由さ		3.0	1.00	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
	1 空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6 バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		周辺建物に調和するように地域産材を使用するなどして良好な景	5.0	0.40	-	-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI=0.52	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm]: 0.88	2.6	0.50	-	-	2.6
4 効率的運用			2.0	0.20	-	-	2.0
	集合住宅以外の評価		2.0	1.00	-	-	
	4.1 モニタリング		-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		2.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価		-	-	-	-	
	4.1 モニタリング		-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.2
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水	自動水栓、節水形大便器の採用	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
	1 雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.60	-	-	3.4
	2.1 材料使用量の削減		3.0	0.10	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	種類: 高炉セメント 部位: 杭、基礎梁、1階小梁	5.0	0.20	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.10	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		3.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			2.7	0.20	-	-	2.7
	3.1 有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避		2.6	0.70	-	-	
	1 消火剤		2.0	0.33	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.33	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.33	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.1
1 地球温暖化への配慮		自動計算の結果	3.3	0.33	-	-	3.3
2 地域環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	2.1 大気汚染防止		3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		3.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2 汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3 交通負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	4 廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.0	0.33	-	-	3.0
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止		3.0	0.40	-	-	
	1 騒音		3.0	0.33	-	-	
	2 振動		3.0	0.33	-	-	
	3 悪臭		3.0	0.33	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	1 風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2 砂塵の抑制		1.0	-	-	-	
	3 日照障害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制		3.0	0.20	-	-	
	1 屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策		3.0	0.70	-	-	
	2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	